

1万人
防災士への
歩み

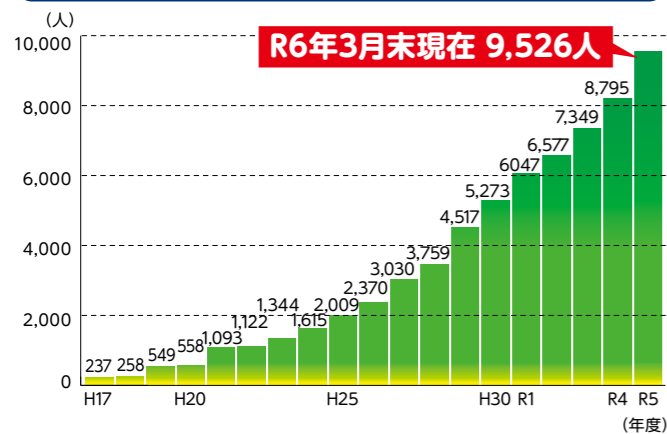
全国初、防災士資格取得費用を 全額公費負担

産官学民が連携した 「全世代型防災教育」を推進

全国最多の防災士が様々な場で活躍しています

地震や豪雨などの自然災害が発生したとき、地域の住民自らが生命や財産の安全を確保し、被害の軽減を図るためには、自主防災活動が重要です。松山市では、自主防災組織のリーダーとなる人材育成をいち早く始め、産官学民の連携で、様々な職域や世代の方に防災士資格の取得を後押ししてきました。その結果、全国の市区町村の中で最も多くの防災士が誕生し、地域の防災力を日々高めています。

松山市における各年度末の防災士数(人)



松山市の防災活動の取り組み

平成7年	「自主防災組織」結成を開始
平成14年	「防災士認証制度」が創設される
平成17年	公費負担の防災士養成を開始
平成24年	「自主防災組織」結成率100%
平成26年	愛媛大学で防災士養成講座を開始
平成30年7月	豪雨災害
令和元年	全世代型防災教育を開始
	松山市防災教育推進協議会発足
	松山防災リーダー育成センター設置
令和4年	マイ・タイムラインを軸にした「逃げ遅れゼロプロジェクト」始動
令和5年	松山市マイ・タイムライン防災アプリ運用開始
令和6年	防災士フォローアッププログラム開始

■ 地域の防災力UPのため資格取得は公費負担

松山市では平成17年度から自主防災組織の核となる防災リーダー育成に向け、全国初の取り組みとして、自主防災組織の推薦を条件に、防災士資格取得費用を全額公費負担とする支援を行ってきました。

現在も市立小中学校や保育園、幼稚園の教職員、また福祉施設や災害協定事業所など、幅広い世代・職域での防災士養成を進めています。

■ 切れ目のない「全世代型防災教育」

平成26年から愛媛大学と連携し、地域住民や大学生の防災士を養成するなど、地域防災を担う人材を育成しています。平成30年7月豪雨をきっかけに、全ての市民に防災教育を行い、さまざまな世代や職域に防災リーダーを育成するため、令和元年5月、産官学民が連携し「全世代型防災教育プログラム」をスタートしました。

小学生から高齢者まで世代や職種に合わせたプログラム



各世代の防災リーダーが支えるしくみ

子どもから成長にあわせ体系的に継続することで、主体的に防災について考え、実践できる人材の育成を図ります。地元で育った人材が、地域や企業で活躍し、一生を通じた防災リーダーとなる人材の地域循環を目指しています。

災害に強い安全・安心なまちに

松山 防災士 フォローアップ プログラム

松山防災リーダー育成センター

松山防災リーダー育成センター

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学防災情報研究センター内
TEL:090-4910-9465
E-mail:info@matsuyama-bltc.com

防災士フォローアッププログラムとは

松山市に在住または勤務し、「防災士」資格を取得している方を対象に、防災活動を行う上で必要とされるスキルを向上させ、地域や企業の防災力を高めることを目的としたプログラムです。

※ 各自のスキルや経験などに応じて選択できるよう「初級者向け」「中級者向け」「上級者向け」に区分していますが、受講要件等はありませんので、ご自由に受講してください。



初級者向けプログラム

01
実技

住宅耐震・家具固定

家具転倒防止対策や住宅耐震化のほか、非常持ち出し袋、家庭内備蓄など、各家庭における災害への備えを学びます。



02
座学

災害時の食と栄養

過去の災害で起きた食の問題と、家庭に必要な備蓄について学びます。また、「パック調理」など、災害時に役立つ調理スキルを身に付けます。



03
座学

HUG (避難所運営ゲーム)

カードゲーム「HUG」を通じて、避難所運営について学びます。避難者や様々な問題に対応し避難所運営のイメージを掴みます。



04
実技

救出技術・初期消火・安全管理

倒壊した家屋や転倒した家具からの救出方法や初期消火の方法のほか、活動を行う上での安全行動などについて学びます。



05
実技

防災まち歩き・防災マップ作り

地域をめぐる、危険箇所や災害対応に役立つ施設や設備などを把握した後、地図に落として手作りハザードマップを作成する手法を学びます。



06
座学

防災・気象情報の収集と活用

防災・気象情報の種類と内容を理解するほか、収集・活用方法とともに、マイ・タイムラインの作成について学びます。



中級者向けプログラム

07
座学

災害時のトイレ対策

過去の災害で起きた様々なトイレの問題を学びます。ワークショップでは、避難所でのトイレの設置方法やトイレの明かり対策などを実際に体験します。



08
座学

災害ボランティア

災害ボランティアセンターの役割や行政・社会福祉協議会・NPOの連携の重要性を学びます。また、ボランティアを行う際の注意事項なども習得します。



09
座学

防災訓練・研修の企画と実践

地域の防災訓練や研修会を企画・立案・実践できる技術を身に付けます。また、わかりやすい資料作成の方法や説明の手法も学びます。



10
座学

ペット防災

ペットの飼い主が平常時から備えておくべき対策をはじめ、避難所でのペットの取り扱いなどについて学びます。



上級者向けプログラム

11
実技

上級救命講習

成人・小児・乳児に対する心肺蘇生法やAEDの使い方、止血法、異物除去法、搬送法などを、普通救命講習より高度な応急処置として学びます。



12
座学

男女共同参画と防災

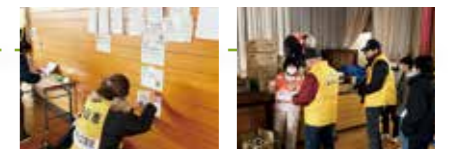
男女共同参画の視点から災害対応を進める上での基本的な考え方や、平常時の備え、初動段階、避難生活、復旧・復興の各段階での取り組むべき事項を学びます。



13
実技

リアルHUG (避難所運営ゲーム)

大規模災害時に、様々な人が避難してくる中、どのように避難所のレイアウトを考え、避難者に対応するかなど、避難所運営を模擬的に体験します。



14
座学

要配慮者支援

災害が発生した時、特に配慮が必要となるのは、どのような人で、どのような対応が必要か、ワークショップなどを通じて学びます。

